東京2020大会における都市運営に係る基本方針について

1 大会における都市運営の役割

- ・円滑な大会運営の支援 ・大会が都民生活に与える影響の軽減
- 2 大会における都市運営の取組
- (1) 大会運営に係る総合的な連絡調整
- ・大会運営に係る情報集約、関係機関等との連絡調整
- ・都市情報の集約、異常発生時の対応

- (2)競技会場周辺における取組
- ・ 観客への案内、路上美化、暑さ対策等
- ・事故等への対応

(3) 輸送・交诵に係る取組

別途策定の「輸送運営計画」に定める

3 都市オペレーションセンター (仮称)の設置

大会における都市運営に取り組むため、「都市オペレーションセンター(仮称)」を設置

(1)設置期間•運営時間

大会時及びその前後に設置し、大会中は24時間体制

(2) 関係機関等との連携体制

組織委員会メインオペレーションセンター等との緊密な連携体制構築

- (3) 大会運営に係る総合的な連絡調整
- ・競技の実施状況や会場内の混雑状況など大会運営情報を集約し、 関係機関等に情報共有
- ・組織委員会から支援要請があった場合に関係機関等と連携して対応
- ・水質や大気等の状況、ライフライン、感染症の発生状況など都市情報 を集約し、大会への影響を分析
- ・大会に影響を及ぼす事態発生時には、関係機関等と連携して対応

(4) 競技会場周辺対応

- ・競技会場周辺の状況を把握し、関係機関等と情報共有
- ・観客の流動状況に合わせた都市ボランティアの配置調整
- ・道路上の障害物の除去や路面清掃
- ・仮設トイレなど利便設備の維持管理
- ・怪我人や急病人など事故等発生時には、関係機関等と連携して対応

(5) 大会後について

・都市オペレーションセンター (仮称) の設置にあたり、都庁関係局等 が保有する都市情報を効率的に集約する仕組みを検討し、今後の都政 に活用

4 大会に向けた都市運営に資する取組

大会に向けて都市運営に資する取組を進めていく(テロ・防災対策等、バリアフリー化の推進、暑さ対策、外国人観光客の受け入れ)

今後、本方針に基づき、大会運営に係る総合的な連絡調整や競技会場周辺における取組について、具体的に検討していく。

